

Q&A 先月の技術相談から

木と暮らしの情報館に製品を展示したいのですが？

Q: 木と暮らしの情報館にはいろいろな会社で作った木材クラフト製品がたくさん展示してあるので、自分の会社の製品も展示してもらいたいのですが、どのような手続きが必要でしょうか。

A: 林産試験場に併設している木と暮らしの情報館(図1)は、毎年4月から11月の間、開館しており、平成25年では約7,000人の来場者があります。林産試験場の研究成果も展示してありますが、北海道の企業が生産した、木材製品、クラフト製品を見に来られる方も多く、木と暮らしの情報館の主要なコンテンツとなっています。

展示製品の情報は、木と暮らしの情報館木の情報検索ページ(図2 <http://kitokurashi.fpri.hro.or.jp/>)から閲覧することもできます。このページは情報館の閉館中でも次年度継続して展示する製品については、閲覧することが可能となっています。

木と暮らしの情報館には、平成26年で31社、432種類の木材製品、クラフト製品などが展示されています(図3)。諸般の事情で展示を中止する企業もありますが、新たに展示したい意欲的な企業が継続的に出てきていることから、ここ数年間は、全体としては出展者数、製品の種類ともに増減が小さい状態となっています。

さて、木と暮らしの情報館に展示する製品については、毎年、閉館が近くなる11月ごろに、継続展示の照会と同時に、新規製品の展示募集を行っております。この記事が掲載されるころには、林産試験場ホームページで、新規展示製品・継続展示製品の募集案内が掲載されていると思いますので、新規製品を展示したい方は、是非応募してください(<http://www.fpri.hro.or.jp/>)。

展示申込書は募集案内のページからダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上、製品の写真などを添えて、林産試験場まで申し込みください。ただし、応募可能な製品は現在販売しているものに限ります。

平成26年12月現在、展示スペースにはまだ若干の余裕がありますので、希望される方の要望にお応えできると思います。

なお、年度途中での展示製品の追加にも柔軟に対応したいと考えておりますので、この募集機会を逃した方でも林産試験場企業支援部普及調整グループまでご連絡いただければできるかぎり対応いたしますのでお申し付けください。



図1 木と暮らしの情報館(外観)



図2 木の情報検索ページ

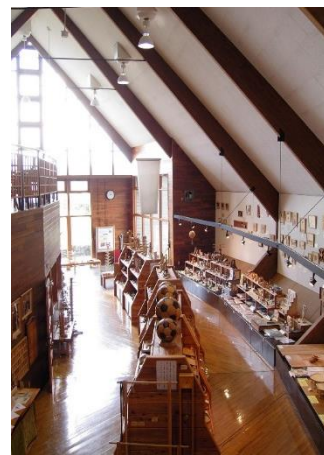


図3 木と暮らしの情報館の展示の様子

(企業支援部 普及調整グループ 西宮耕栄)